

「全鍍連」 2023年 10月号 組合員の広場

東京都鍍金工業組合

岩本 秀和 (株)岩本製作所 代表取締役)

「旧下谷小学校」



JR 上野駅入谷口を出て徒歩 3 分の所にある台東区立旧下谷小学校。今は廃校になっていますが、その建物自体は今もまだ残っております。この旧下谷小学校は私の母校でもあります。近年の上野駅周辺の開発に伴い私の会社兼自宅は墨田区押上に移転しましたが、私は中学校まではこの旧下谷小学校のある台東区東上野に住んでいました。今でも組合の会合等があると懐かしさから散歩がてら、この近辺を歩く事があります。数年前のクラス会の時に同級生から下谷小学校が最近昭和モダン建築として度々メディアに取り上げられてる事を知りました。その時からだと思います、急に懐かしくなりそのモダン建築を見たくなってしまうわざわざ歩いて見に行くようになったのは・・・。

この下谷小学校は昭和 3 年竣工の鉄筋コンクリート造校舎で大正 12 年の関東大震災で今の東上野（戦前は下谷区北稲荷町）周辺は全焼した地域らしく、この下谷小学校は震災復興小学校の部類に入る建物だそうです。

また、台東区役所が隣接していることもあり、あまり陽当たりが良くなく当時の私たちにはひっそりとした感じの学校のイメージが強かったかも知れません。

この写真を見る限りでは伝わりにくいかも知れませんが本当に前の区役所の影でひっそり感が出ています。しかしこの建物自体がモダン建築物と言う凄さは在校生としてもあまりにも当たり前であったせい分かりませんが、今となっては何となく理解が出来ます。そんな台東区立旧下谷小学校が遂に取壊す事が発表されました。最後の記念に在校生やメディアが校舎に入れる日を設けて頂ける日と最後の式典があると聞き行ってきました。私の記憶だけが全てですが階段の造りから講堂（体育館）の造りなどはとても印象深い、素敵な造りを今となって思いながら校舎を最後に回ってきました。

そんな旧下谷小学校でも胸を張れるくらい綺麗に校舎が彩りよくなる季節があります。それは 5 月位から 6 月位です。写真参照⇒

1 枚目の写真アングルとほぼ変わりませんが、この季節になると鶯の葉に校舎が覆われるのです。緑に包まれた綺麗な校舎に変貌します。しかし残念ながらここまで多くなる事は当時はありませんでした。

この鶯の葉が校舎を包む季節には教室の窓を開けて授業をしていると穂のかに緑の清々しい香りがして気持ちよかった記憶が今も鮮明に思い出されます。

なお下谷小学校は上野駅周辺開発が進み児童が激減し平成 2(1990)



年に近隣の清島小学校と統合し閉校となりました。この下谷小学校のある東上野エリアは昭和 50 年代までは児童の活気に満ち溢れ校庭でボール遊びや鬼ごっこをする姿がきつと周辺の御家庭には心地よく感じ、下校時に近所の人たちから「おかえり～」と言う声があちらこちらで聞こえた下町風情溢れる街並みでした。今ではランドセルを背負って登下校する姿は皆無になり、近くサラリーマンの方達が学校の周りに多く見られます。学校の前に立ちすくむ私は何故か寂しさを感じました。

この小学校のモダン建築はさる事ながら、当時この小学校に通った在校生の為にもこの空いた施設を違った形で再利用することで、あの賑やかだったこの周辺の下町風情の息吹を守って欲しかった、この小学校の建築物の良さをもっともっと後世に残して欲しかったのが本音でした。